

地域交通に関するアンケート結果

回答 11 名 (委員 18 名)

問 1 日中の交通手段について

- ・ 町営バスは、通学の需要もあり平日の朝と夕方に利用者が集中しています。
- ・ 一方、高齢者が通院や買い物のために移動する日中は、利用者が少なく、空車で運行する便も多くあります。
- ・ 会議でも、日中はバスではなくタクシーや共助交通により、小型車両が予約に応じて玄関の近くまで送迎する交通に切り替えた方が効率的であるとの意見がありました。
- ・ 日中の交通のあり方について、制度面や利用料金の視点から委員のご意見をお聞かせください。

意見のまとめ

- ・ 回答した委員の全員が、**日中の交通手段は必要**と考えている。
- ・ **バス車両での運行は非効率であり、小型車両よる運行がよい**との意見。
- ・ 運行の形態については、**共助交通での運行**を希望する意見が多いが、**町営タクシー事業の実施**を望む意見も同程度ある。
- ・ 料金は片道 100 円～通常のタクシー料金まで様々な意見があるが、安すぎる料金設定はすべきではないとの意見がある。

個別の意見

- ・ 各便当たりの平均乗車数を見ると野井倉線、琴浦海岸線以外は日中の運行を止め、**タクシー、共助交通に切り替え**の方がよい。料金は、タクシーについては 1 割程度の負担で残りは町の補助、共助交通であれば距離に応じて 500 円～2,500 円。
- ・ 車を運転できない人のため**日中の交通手段をなくすのはよくない**が、利用料金はとるべきだと思う。安すぎ、高すぎはよくない。利用しやすい料金設定がよい。共助交通の場合でも運転する側にとってもその方がよい。プラスポイントなどの特典が加えることができれば、継続するメリットになる。提供側にもメリットがある方がよい。
- ・ 利用者ごとに週単位の送迎スケジュールを作成して運行する。利用料金は 1 回あたり 1,000 円程度。
- ・ **利用者の少ない日中にバスを運行するのはもったいない。予約制のタクシーや共助交通**を中心に考える。まちづくりセンターに予約センターを持たせる。利用料金は、実プラスアルファとして 50 円～100 円。
- ・ 高齢者にやさしい交通が必要。電話予約より週に数回の定期運行がよい。タクシーより安く、乗りやすい環境が必要。ドアツードア型なら予約制で運行する。
- ・ **町営バスは限界。税金のムダ遣い。廃止の方向**がよいと思っている。**町営タクシーの方が現実的**と考える。通常のタクシー料金と同額とすべき。削減した経費を少子化対策に回す。スクールバスは必要。
- ・ 高齢者は、バス停までの移動も難しくなってくる。しかし、弱者を切り捨てることがあってはならない。タクシーは助成があっても自己負担が大きい。地域での共助交通で運営する。
- ・ **利用者のないサービスは止めるべき**。必要なサービスは続けるべき。自家用車で移動ができるので、会議で話を聞いても実感がもてなかった。共助交通に対しできることは積極的に参加する。
- ・ 共助交通に賛成。タクシーは高すぎる。運転手不足もあり難しい。野井倉→浦安で片道 500 円、往復 1,000 円。地区内の移動は 100 円。
- ・ 燃料をまいて走っているようなもので、新しい仕組みをつくることに賛成。若桜町の町営タクシーを参考にすべき事例と考える。

- ・ 高齢者はまとめて買い物をするので行きはバス停まで歩くが、帰りは玄関前まで送迎がよい。江府町は町営タクシーになった。片道 300 円、往復 600 円。安すぎても利用しづらい。

問2 タクシーについて

- ・ 第2回自分ごと化会議にてタクシー事業者より説明がありましたが、町内のタクシーは、赤字が継続し営業時間や運転台数が縮小しています。このままでは近い将来、タクシー営業所が閉鎖となることが想定されます。
- ・ 現在、町では交通空白地にお住まいの方や障がいをお持ちの方に対してタクシー助成を行い、通院や日常生活に必要な移動を支援しています。また、早朝や夜間はタクシーのほかにも移動手段がない実態もあります。
- ・ タクシーは、今後も地域交通として必要であるのか、委員のご意見をお聞かせください。必要であるとした場合、タクシーの継続にむけて支援するために町ではどのような取り組みが考えられますか。
- ・ なお、会議ではタクシー事業者が町営バス事業を受注することで、朝夕はバスを運転し、日中はタクシーを運転するといったドライバーの有効活用と採算性向上を図っている事例が紹介されました。

意見のまとめ

- ・ **タクシー事業は地域交通として必要との認識であるが、赤字を解消することが重要。**
- ・ タクシー利用者に対する助成制度の導入を求める意見は多い。
- ・ **タクシー事業者に町営バスやデマンド交通を委託することで有効活用を図ることに賛成する意見が多い。**
- ・ **民間でのタクシー事業は不要であり、共助交通や町営タクシーとすべきの意見もある。**

個別の意見

- ・ **琴浦町で一つはタクシー営業所を残して欲しい。** 買い物や通院に限定して利用補助金を交付する。**タクシー事業とバス事業が両方可能であればよい。**
- ・ タクシーの赤字を解消しなければ継続は難しい。効率性、有効活用のキーワードがポイントになる。
- ・ **タクシー会社に利用者送迎を委託。** 車や免許のない高齢者に対し、割引制度を導入する。
- ・ 具体的な利用実態が分からないので何とも言えない。タクシー事業が赤字であれば、無理に継続はできない。**今後は共助交通等に切り替え、早朝や夜間の利用は予約制のタクシーを利用する。**
- ・ **町営タクシーを実施する。** 交通手段がなくなり助成も不要。町営バスのように無駄な運行がなくなる。
- ・ **地域交通として必要であるが、** 利用する機会は少ないのが現状。事例のように**タクシー事業者がバス事業を受注することでドライバーの有効活用**と採算性向上を図ってもらう。タクシー事業者の採算が悪化することは明らかです。家族＞地域＞行政で移動を負担する。新しいことに挑戦してほしい。
- ・ **タクシーは不要。共助交通、デマンド交通で代用する。** 利用料金はタクシーの半額程度。
- ・ 新たなスタイルをつくる。ボランティアは成り立たない。行政が主体で組み立てていくしか方法がないと思います。
- ・ 会議で紹介された**タクシー事業者が町営バス事業を受注することで、ドライバーの有効活用を図ることについて賛成する。**

